

令和元年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

小千谷市教育委員会

【目 次】

I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

1	教育委員会 第4回定例会	(平成31年 4月26日開催)	……	1
2	教育委員会 第5回定例会	(令和元年 5月20日開催)	……	2
3	教育委員会 第6回定例会	(令和元年 6月18日開催)	……	2
4	教育委員会 第7回定例会	(令和元年 7月23日開催)	……	2
5	教育委員会 第8回定例会	(令和元年 8月 9日開催)	……	3
6	教育委員会 第9回定例会	(令和元年 9月25日開催)	……	4
7	教育委員会 第10回定例会	(令和元年10月30日開催)	……	4
8	教育委員会 第11回定例会	(令和元年11月25日開催)	……	5
9	教育委員会 第12回定例会	(令和元年12月20日開催)	……	6
10	教育委員会 第1回定例会	(令和2年 1月22日開催)	……	6
11	教育委員会 第2回定例会	(令和2年 2月25日開催)	……	6
12	教育委員会 第1回臨時会	(令和2年 3月 2日開催)	……	7
13	教育委員会 第3回定例会	(令和2年 3月24日開催)	……	7

II 教育委員会における事務の点検及び評価

1 学校教育の充実

(1) 幼児教育の充実

ア	家庭、地域における幼児教育の充実	……	8
イ	子ども読書活動の推進	……	8
ウ	教育相談の充実	……	9

(2) 小・中学校教育の充実

ア	学校の創意を活かす教育の推進	……	10
イ	学ぶ意欲を高める学習指導の推進	……	10
ウ	ふるさと学習・キャリア教育の推進	……	11
エ	震災体験を活かした防災教育の推進	……	11
オ	読書活動の推進	……	11
カ	英語教育・国際理解教育の充実	……	12
キ	日本語指導等を必要とする児童・生徒への対応	……	13
ク	いじめ・不登校対策、人権感覚を育む教育の推進	……	13
ケ	非核平和教育の推進	……	14
コ	食育の推進	……	14

サ	学校給食の運営	15
(3)	特別支援教育の充実	
ア	就学相談体制の充実	15
イ	通級指導教室の拡充	15
ウ	総合支援学校の運営支援	16
エ	特別支援教育の充実	16
オ	生徒への就労支援	17
(4)	教育環境の整備	
ア	学校施設の整備・充実	17
イ	学校給食施設の整備・充実	18
ウ	情報化の推進	18
(5)	育英事業の推進	
ア	育英事業の支援	19

2 生涯学習の推進

(1)	生涯学習事業の推進	
ア	学習機会の充実	20
イ	グループ活動の支援	20
ウ	指導体制の充実	21
エ	公民館活動の充実	21
オ	図書館サービスの充実	22
カ	生涯学習施設の整備	23
(2)	青少年の健全育成	
ア	相談業務の充実	23
イ	育成指導体制の充実	24
ウ	家庭教育の支援	24
エ	地域活動などへの参加推進	25
オ	地域ボランティアの活動支援	25
カ	子ども・若者育成への支援	25
キ	勤労青少年の活動支援	26

3 文化の振興

(1)	文化・芸術の振興	
ア	文化団体などの育成支援	26
イ	芸術鑑賞の機会の充実	27
(2)	文化財等の保存と活用	
ア	文化財の調査、保存	27
イ	文化施設(郷土資料館等)の整備	28
ウ	後継者の育成	28

エ	郷土の偉人の顕彰	29
4	スポーツの振興	
(1)	地域スポーツの振興	
ア	生涯スポーツの推進	29
イ	競技スポーツの推進	30
ウ	スポーツ活動の普及推進	30
エ	指導者養成の推進	31
オ	健康・体力づくりの推進	31
(2)	体育施設の整備	
ア	体育施設の整備・充実	32
イ	白山運動公園の再整備計画	32
ウ	屋根付き屋外運動施設の整備検討	32
5	人口減少対策	
ア	少子化対策の推進	33
Ⅲ	点検及び評価に対する意見等	33

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、小千谷市教育委員会の令和元年度における事務の管理及び執行の状況について、教育施策が着実に執行されているかなど、学識経験者からご意見をいただきながら、点検及び評価を行い、その結果を報告するものです。

教育を取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、市教育委員会の事務・事業につきまして一層のご理解を深めていただくとともに、「人を育み文化の香るまちづくり」のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

小千谷市教育委員会

【学識経験者】

- ・ 竹内正宏（新潟県立小千谷高等学校長）
- ・ 藤井和夫（小千谷市社会教育委員会委員長）
- ・ 吉原正幸（小千谷市スポーツ協会長）

I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

令和元年度に教育委員会定例会を12回、臨時会を1回開催し、28件の議案を審議しました。また、議事録承認13件、陳情1件、協議報告事項は111件でした。審議の結果は、以下のとおりです。

1 教育委員会第4回定例会

- ・ 日時 平成31年4月26日(金) 午後3時33分～午後4時25分
- ・ 場所 市役所403会議室
- ・ 議事録承認 平成31年第3回定例会
- ・ 議事 (1件)

議案第17号 (非公開)	臨時代理について（附属機関の委員の人事について）	原案承認
-----------------	--------------------------	------

- ・ 協議報告事項（9件）
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 新入学後の子どもたちの様子について
 - ・ 平成31年度教育委員・管理指導主事学校訪問日程調整について
 - ・ 小学校の全教科教科書採択について
 - ・ 全県教育長会議の概要について
 - ・ インフルエンザによる学級閉鎖について
 - ・ 総合体育館における盗難事故について
 - ・ ソフトテニスの全国大会優勝について

2 教育委員会第5回定例会

- ・ 日 時 令和元年5月20日(月) 午後3時56分～午後4時34分
- ・ 場 所 総合体育館体育団体室
- ・ 議事録承認 平成31年第4回定例会
- ・ 議 事 (2件)

議案第18号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認
議案第19号 (非公開)	附属機関の委員(青少年育成センター運営協議会委員)の人事について	原案可決

- ・ 協議報告事項(6件)
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 市内中学校における生徒関係の対応について
 - ・ 令和元年度教育委員・管理指導主事学校訪問について
 - ・ 高齢者叙勲について
 - ・ ソフトテニス女子全国大会出場について

3 教育委員会第6回定例会

- ・ 日 時 令和元年6月18日(火) 午後3時58分～午後5時01分
- ・ 場 所 総合体育館体育団体室
- ・ 議事録承認 令和元年第5回定例会
- ・ 議 事 (3件)

議案第20号	小千谷市文化財の指定について	原案可決
議案第21号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認
議案第22号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認

- ・ 協議報告事項(8件)
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 新潟県少年の主張大会～わたしの主張～審査員について
 - ・ 長岡信金からの寄付について
 - ・ 部活動指導員について
 - ・ 国民文化祭のオープニングイベントについて
 - ・ 視察研修の日程について
 - ・ 学校訪問の様子について

4 教育委員会第7回定例会

- ・ 日 時 令和元年7月23日(火)午後4時00分～午後5時28分
- ・ 場 所 市役所301会議室
- ・ 議事録承認 令和元年第6回定例会

・ 議 事 (4件)

議案第23号	特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書の採択について	原案可決
議案第24号	小学校教科用図書の採択について	原案可決
議案第25号	中学校教科用図書の採択について	原案可決
議案第26号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認

・ 協議報告事項 (10件)

- ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
- ・ 次回委員会開催日程について
- ・ 市議会第2回定例会一般質問について
- ・ 市内中学校中越地区大会及び県大会の結果について
- ・ 新潟県少年の主張大会～わたしの主張～選考結果について
- ・ 宜興実験小学校と小千谷小学校との交流について
- ・ 新潟県市町村教育委員連合会定期総会及び研修会について
- ・ 非核平和推進研修への中学生の参加について
- ・ 一学期間のいじめ・不登校等について
- ・ 学校訪問の様子について

5 教育委員会第8回定例会

- ・ 日 時 令和元年8月9日(金) 午後4時46分～午後5時24分
- ・ 場 所 市役所大会議室
- ・ 議事録承認 令和元年第7回定例会
- ・ 議 事 (7件)

議案第27号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(小千谷市立学校使用条例の一部を改正する条例の制定について))	原案承認
議案第28号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(小千谷市民会館条例の一部を改正する条例の制定について))	原案承認
議案第29号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(小千谷市民学習センター条例の一部を改正する条例の制定について))	原案承認
議案第30号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(小千谷市スポーツ広場条例の一部を改正する条例の制定について))	原案承認
議案第31号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(小千谷市体育館条例の一部を改正する条例の制定について))	原案承認
議案第32号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議	原案承認

	案についての意見の申し出について(小千谷市図書館条例の一部を改正する条例の制定について))	
議案第33号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(小千谷市勤労青少年ホーム設置条例の一部を改正する条例の制定について))	原案承認

- ・ 協議報告事項 (9件)
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について
 - ・ 各種大会の出場結果について
 - ・ 夏休みの児童・生徒の状況等について
 - ・ 中学校の運動会日程について
 - ・ 教育委員会先進地行政視察計画について
 - ・ 西脇邸の登録有形文化財への登録について
 - ・ ホストタウン交流事業について

6 教育委員会第9回定例会

- ・ 日 時 令和元年9月25日(水) 午後4時25分～午後5時25分
- ・ 場 所 市役所403会議室
- ・ 承議事録認 令和元年第8回定例会
- ・ 陳 情 (1件)

陳情第1号	小千谷市教育の振興に関する要望書	原案可決
-------	------------------	------

- ・ 協議報告事項 (8件)
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 各種大会の結果について
 - ・ 市議会第3回定例会における一般質問について
 - ・ 「中越大震災の日」に係る取組について
 - ・ 国民文化祭の開催状況について
 - ・ 視察研修の内容について
 - ・ 総合教育会議の議題について

7 教育委員会第10回定例会

- ・ 日 時 令和元年10月30日(水)午後4時10分～午後4時55分
- ・ 場 所 市役所403会議室
- ・ 議事録承認 令和元年第9回定例会
- ・ 協議報告事項 (15件)
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について

- ・中越地区中学校駅伝競走大会の結果について
- ・いじめ・不登校の状況及びいじめ対策専門委員会の報告について
- ・健康・子どもプラザへの学校教育課の移転と内覧会について
- ・ソルトキング祭りについて
- ・令和元年度 谷小教育の日について
- ・教育委員会関係者の叙勲について
- ・県優秀教職員表彰について
- ・第39回小千谷市展について
- ・市P連研究大会について
- ・麵フェス講演会について
- ・楽集館企画展 「～1964年をふりかえる東京オリンピックと小千谷～」について
- ・中越大震災15年記念事業について
- ・台風19号による風水害について

8 教育委員会第11回定例会

- ・ 日 時 令和元年11月25日(月)午後4時03分～午後5時04分
- ・ 場 所 総合体育館体育団体室
- ・ 議事録承認 令和元年第10回定例会
- ・ 議 事 (2件)

議案第34号 (非公開)	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(平成30年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第3号)について))	原案承認
議案第35号 (非公開)	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(平成30年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第4号)について))	原案承認

- ・ 協議報告事項(12件)
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 県及び北信越中学校駅伝競走大会の結果について
 - ・ 児童生徒を対象とした県教育委員会表彰について
 - ・ 秋の文化系行事の報告について
 - ・ 市PTA連合会主催第52回研究大会について
 - ・ 第32回野馬追いの里健康マラソン大会について
 - ・ 市立学校のインフルエンザの状況について
 - ・ おぢやしごと未来塾について
 - ・ 教職員の働き方改革への取組みについて
 - ・ 片貝中学校の道徳研究発表会の様子について
 - ・ 教育委員会先進地視察の感想について

9 教育委員会第12回定例会

- ・ 日 時 令和元年12月20日(金) 午後3時30分～午後4時35分
- ・ 場 所 市役所403会議室
- ・ 議事録承認 令和元年第11回定例会
- ・ 協議報告事項 (7件)
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 第4回市議会定例会における一般質問について
 - ・ 「年初めスポーツイベント」について
 - ・ インフルエンザの状況について
 - ・ おぢやしごと未来塾の感想について
 - ・ 2学期の総括について

10 教育委員会第1回定例会

- ・ 日 時 令和2年1月22日(水) 午後4時14分～午後5時07分
- ・ 場 所 市役所403会議室
- ・ 議事録承認 令和元年第12回定例会
- ・ 協議報告事項 (10件)
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 新図書館PFI事業について
 - ・ 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について
 - ・ 3学期の様子について
 - ・ 県中学校スキー大会の結果及びソフトテニス全国大会出場について
 - ・ 小千谷市教育美術展について
 - ・ イングリッシュ・ウインター・キャンプについて
 - ・ 卒業式の日程と出席について
 - ・ 令和4年度以降の成人式の実施方法について

11 教育委員会第2回定例会

- ・ 日 時 令和2年2月25日(水) 午後4時00分～午後5時08分
- ・ 場 所 総合体育館体育団体室
- ・ 議事録承認 令和2年第1回定例会
- ・ 議 事 (3件)

議案第1号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和元年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第6号)について))	原案承認
議案第2号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和2年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)当初予算につい	原案承認

	て))	
議案第3号 (非公開)	令和2年度管理職教職員人事異動の内申について	原案承認

- ・ 協議報告事項（8件）
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 新型コロナウイルスへの対応について
 - ・ 全国スキー大会の結果について
 - ・ 児童生徒を対象とした県教育委員会表彰について
 - ・ 令和元年度体罰調査に係る報告について
 - ・ エデュケーショントークについて
 - ・ 新年度の主な日程について

1.2 教育委員会第1回臨時会

- ・ 日 時 令和2年3月2日(金) 午後4時05分～午後4時26分
- ・ 場 所 市役所403会議室
- ・ 議 事 (1件)

議案第4号 (非公開)	臨時代理について(新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る臨時休業措置について)	原案承認
----------------	---	------

1.3 教育委員会第3回定例会

- ・ 日 時 令和2年3月24日(火) 午後3時33分～午後5時00分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和2年第2回定例会
- ・ 議 事 (5件)

議案第5号	小千谷市における教員の勤務時間の上限に関する方針について	原案可決
議案第6号	小千谷市立学校管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第7号	小千谷市立中学校部活動指導員設置規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第8号	小千谷市スポーツ推進審議会に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第9号 (非公開)	臨時代理について(教育委員会事務局、教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事を行うことについて)	原案承認

- ・ 協議報告事項（9件）
 - ・ 月例事務報告兼教育委員会・教育長の予定について
 - ・ 次回委員会開催日程について
 - ・ 新型コロナウイルス対応について
 - ・ 令和2年度小千谷市教職員の人事異動について
 - ・ 市議会第1回定例会一般質問について

- ・小千谷学生寮でのノロウイルスの発生について
- ・教育委員会への寄付について
- ・卒業式の感想について
- ・令和元年度教育委員会総括

II 教育委員会における事務の点検及び評価

第五次小千谷市総合計画に定める施策のうち、教育委員会が所管する施策について点検・評価を行いました。

具体的には、前期基本計画に分野別に体系づけられた「施策の基本方針」について、令和元年度の取り組み状況を点検・評価したものであり、その結果は以下のとおりです。

なお、取組状況を補足するうえで、小千谷市が調製した「令和元年度 主要な施策の成果説明資料（兼事務報告）」（以下「資料」という。）を参照することが適当なものは、資料の該当ページを表示しました。

1 学校教育の充実

(1) 幼児教育の充実

ア 家庭、地域における幼児教育の充実

【令和元年度の取組み】

○幼児期における家庭教育の普及・振興を図るための講演会や親子教室等を、幼稚園等を会場として実施した。

実施回数 9（幼稚園等） 参加者数 806人

【成果及び今後の取組み等】

○家庭教育の普及・振興を図るため、幼児期における家庭教育の課題解決のため保護者に情報提供を行うとともに、幼稚園等と連携して幼児教育の充実を図った。

○健やかな子どもの成長のために、早い段階から基本的な生活習慣を身につけることが重要であることから、健康部局や公民館分館と連携し、啓発する必要がある。

○わんパークの子育て学級終了後の受講者による自主サークル化への誘導が必要となる。（親同士の相談、仲間づくり、主体的な問題解決）

イ 子ども読書活動の推進

【令和元年度の取組み】

○遠隔地の保育園等で大型絵本等による読み聞かせや絵本の貸出を行

う「夏休み移動図書館」を実施した。

6ヶ所 参加人数延べ325人 貸出冊数347冊

- 図書館の本を団体貸出として、幼稚園や保育園に配本した。
 - 赤ちゃんの頃から絵本に親しみ、絵本を通じて親子の時間ができるように、市の10ヶ月健診を受診する親子を対象にブックスタート事業を実施した。
- 実施回数 12回 受診者 209人(3月は新型コロナウイルスの関係で絵本のプレゼントのみ 12人)

※資料P169～173 「○図書館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 保育園等では毎日の読み聞かせや、家庭への貸し出しが実施されており、保護者への情報提供や啓発活動を多くの園で行っている。
- 「子ども読書活動推進計画」に基づき、書架の配置や案内表示等を工夫し、本を手に取りやすい空間作りを心がけ、親子が気軽に読み聞かせができるようなスペースの確保を検討していく。
- 子どもの本を用意する親が多いことから、今後も保育園等を通じて、本に親しむ機会を作り、併せて保護者への啓発を推進していく。
- ブックスタート事業を関係部局と連携し実施したことにより、保護者への啓発が進んだ。また、実際の読み聞かせの浸透度を確認するために行った1歳半健診時のアンケート結果では、93%の方が読み聞かせをしている結果となった。

ウ 教育相談の充実

【令和元年度の取組み】

- 教育支援委員会、保育園等関係機関と連携し、就学に関する情報交換及び就学相談に対応した。
- 改正した就学相談マニュアルに沿って就学相談を行った。
- 各園を対象とした巡回訪問を行い、就学前から園児についての情報収集を行った。

※資料P150～153 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 各園と学校との連携及び調整を円滑に図ることができた。
- 巡回訪問を行うことにより、早期からの就学相談につながった。
- 幼保小の就学相談に関わる連携体制の充実を図る。
- 児童生徒・学校・保護者との教育相談の充実を図る。

(2) 小・中学校教育の充実

ア 学校の創意を活かす教育の推進

【令和元年度の取組み】

- 「おちやっ子教育プラン」(令和元～3年度)の内容を各学校に周知し、教育プランの理解を図った。
- 「おちやっ子教育プラン」(令和元～3年度)に基づき、校長のリーダーシップのもと、家庭・地域と共に学校の創意を生かした取組みを行った。
- 県の学力向上推進システム活用事業の活用や全国学力・学習状況調査等の結果分析により、学力の実態や問題点・改善点を明確にし、学習指導改善に取り組んだ。
- 市教育研究会と連携した指導力向上研修と全小・中学校への市教委訪問における指導助言で、教職員の指導力向上を図った。

※資料P150～153 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 「おちやっ子教育プラン」(令和元～3年度)の最初の年にあたり、学校訪問等を通して、教職員に内容の周知を図った。また、各学校は、「目指す子どもの姿に迫る4視点」「たて糸とよこ糸がおりなす小千谷の人づくり(8観点)」等をグランドデザインに取り入れ、自校の教育活動を推進した。
- 新学習指導要領の趣旨を生かし、社会に開かれた教育課程を創造し、地域の人材や教育資源を活用した特色ある教育活動を推進していく。

イ 学ぶ意欲を高める学習指導の推進

【令和元年度の取組み】

- 市教育研究会と連携した指導力向上研修と新学習指導要領に対応した研修、若手教員対象の小千谷塾及び全小・中学校への市教委訪問における指導助言で、教職員の指導力向上を図った。

※資料P150 「○教育委員会経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 研修の実施や指導等により、教職員の授業づくりに対する情報共有や改善意欲が向上した。
- 授業のねらいやまとめを明確にし、引き続き分かる喜びや学ぶ楽しさが実感できる授業づくりを推進する。

ウ ふるさと学習・キャリア教育の推進

【令和元年度の取組み】

- 「おりなす教育推進事業」（令和元～3年度）を実施し、子どもたちが、小千谷の自然・歴史・人等と繰り返しかかわる（おりなす）教育を推進した。

※資料P 150～153 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 学校裁量を生かした教育活動を展開し、地域に根ざした特色ある教育活動を推進した。
- 市内の企業及び事業所と連携を図り、中学校の「職場体験活動」を円滑に行うことができた。
- 各種の学習資料を計画的に見直す。
- キャリアパスポートを生かし、資質・能力を育むキャリア教育の充実を図る。

エ 震災体験を活かした防災教育の推進

【令和元年度の取組み】

- 「防災教育の推進」を「おちやっ子教育プラン」に位置付け、年間を通して計画的に防災教育を推進した。
- 防災教育の指導計画に原子力災害を新しく位置付けた。

※資料P 150～153 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 災害時に適切な行動ができるよう、訓練と指導の内容を工夫した。
- 防災教育を通して、児童生徒の意識化の向上が図られた。
- 原子力災害時の避難マニュアルを作成した。
- 「おちや震災ミュージアム そなえ館」の活用を推進し、地域を巻き込んだ安心・安全のための体制を整える。

オ 読書活動の推進

【令和元年度の取組み】

- 各学校の要望により図書館が出向き、大型紙芝居や読み聞かせを行う「学校おはなし会」を1小学校で実施した。
- 遠隔地へのミニ移動図書館の実施を行った。
1小学校 計6回 貸出延べ148人、427冊
- 数冊の図書をテーマに沿って紹介し、本への関心や読書への意識向上

を図るブックトークを実施した。

2 小学校 計 9 回 参加者延べ 3 7 9 人

- 小中学校においては、「朝読書」などの全校一斉読書について取り組んだ。
- 小学校では読み聞かせやブックトーク、ペア読書など、中学校ではおすすり本の紹介や年間貸出ランキングの作成、また、図書POPコンテストの実施・表彰などの委員会企画が行われている。

※資料 P 169～173 「○図書館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- ミニ移動図書館は実施校が 1 校減った。利用校が増加するように学校と連携するとともに、人気のありそうな図書を選書し、子どもたちの利用を促すよう進めていく。
- 「子ども読書活動推進計画」に基づき、読書教育、資料の活用等について学校図書館と連携を図っていく。
- 学校図書館担当者連絡会議などで情報交換を行うことで、ブックトークなどの学校向け事業の利用につながり、子どもたちが読書へ興味を持つきっかけづくりとなった。
- 授業に関連した教材提供など、学校の要望に対応するよう連携を図る。
- 書架整理や新着図書の受入など地域ボランティアと連携して行うことで、学校図書館を訪れやすい環境に整える必要がある。

カ 英語教育・国際理解教育の充実

【令和元年度の取組み】

- ALT 4 名、外国語指導助手 1 名を配置し、国際理解教育、各学校の外国語活動に対応した。
- 国際理解教育推進事業により、小中学生と小千谷・海外留学生支援協議会や長岡技術科学大学等の留学生との交流体験活動を実施した。
- 新学習指導要領実施に向け、市教育研究会で外国語教育部を設置し、外国語指導に関する研修や情報交換を行った。
- 児童生徒の英語によるコミュニケーション力育成のため、イングリッシュキャンプを実施した。

※資料 P 150～153 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 小千谷・海外留学生支援協議会や長岡技術科学大学の協力により、のべ 9 4 人の留学生との交流体験活動が実施できた。

- ウインターイングリッシュキャンプに34名の小中学生が参加した。今後も、市内滞在の留学生や近隣大学等の留学生を活用した交流により、国際理解教育を推進する。
- グローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、教員の英語力・英語指導力向上を図る取組みを推進するとともに、引き続きALT等の講師の配置による指導体制の充実を図る。

キ 日本語指導等を必要とする児童・生徒への対応

【令和元年度の取組み】

- 日本語指導を必要とする児童に対して、指導補助員を配置し、学習や生活面で支援した。

※資料P157～158 「○小学校教育振興経費」参照

※資料P159～160 「○中学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 指導補助員を配置することで、児童生徒が安心して学校生活を送ることができた。
- 今後も日本語指導等を必要とする児童生徒に対して、自立に向けた支援を継続的に行う。

ク いじめ・不登校対策、人権感覚を育む教育の推進

【令和元年度の取組み】

- 児童生徒の適応状況を定期的に把握し、教育センター「マイルーム」、教育相談員、各学校等と連携を密にして対応した。
- 「いじめ・不登校等対策協議会」を開催し、課題と対策について学校及び関係機関と協議した。
- 「いじめ対策専門委員会」を開催し、いじめの状況の確認や事例について検討した。
- 生徒指導主事・生活主任対象のいじめ・不登校対応研修を実施した。
- 同和教育の現地研修が積極的に行われるように輸送等の支援を行った。

※資料P150～153 「○教育指導経費」参照

※資料P153～154 「○適応指導教室経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 学校の積極的ないじめ認知に伴い認知件数は増加したが、迅速で適切な対応により重大事案に該当するいじめの発生はなかった。

- 不登校児童生徒が増加しており、より組織的かつ継続的な未然防止の取組と不登校児童生徒への対応が必要である。
- 児童生徒の個々の問題状況に対処するため、連携の機会を見逃さず、スクールソーシャルワーカー等の外部機関の活用を図る。
- 「マイルーム」の運営について改善を図り、不登校児童生徒への適切な支援、学校との連携の強化を図っていく。
- 同和教育の現地研修については、今後も継続して支援していく。

ケ 非核平和教育の推進

【令和元年度の取組み】

- 中学校で被爆体験伝承講話会を実施し、被爆体験者から直接話を聞く機会をもった。

【成果及び今後の取組み等】

- 被爆体験伝承講話会や広島平和記念式への生徒の派遣事業などを通して、核のない平和な社会を築くことの大切さについて、実感をもって学ぶことができた。
- 社会科や国際理解教育、道徳教育等、様々な学習場面で、児童生徒に生命や平和の大切さを伝えていく。

コ 食育の推進

【令和元年度の取組み】

- 給食週間の実施や給食だよりの発行など、学校給食を通して、児童生徒及び保護者に対し食に関する正しい知識と望ましい食習慣について周知を図った。
- 市内全校での小千谷産コシヒカリを使用した米飯給食の実施や、地元農家等と協働して地場産野菜を使用することで、地産地消の観点から食育についての啓発を図るとともに、食を通じて地域の理解を深めた。
- 「10.23 中越大震災の日給食」として、震災時を想定し、備蓄できる食品を活用しながら、簡単な調理作業により提供できる献立による給食を市内統一で実施した。

※資料 P 174～175 「○学校給食経費 ○学校給食センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 地場産物の活用により、食育の生きた教材となる学校給食としての役割を果たしている。
- 栄養教諭や学校栄養職員を中心に、児童生徒及び保護者に対して学校給食、授業、試食会等を通して食育を継続していく。

- 学校給食を通じた防災体験活動として「10.23 中越大震災の日給食」を継続し、併せて児童生徒の防災意識の向上を図る。

サ 学校給食の運営

【令和元年度の取組み】

- 調理員等の資質向上のため、研修会を実施した。
- 学校給食における食物アレルギーマニュアルの見直しを行った。
- 学校給食センター調理・運搬業務の安定的な運用を図った。

【成果及び今後の取組み等】

- 研修会等を通して、安心・安全な給食の提供に対するスキルや意識の向上が図られた。
- 各種マニュアルを随時見直し、適正な衛生管理等に努める。
- 学校給食センターの調理・運搬業務の厳正かつ適正な指導・評価を行い、引き続き安全・安心な給食の提供に努める。

(3) 特別支援教育の充実

ア 就学相談体制の充実

【令和元年度の取組み】

- 就学相談の手引となる「就学相談の進め方」を見直し、就学相談体制の整備を図った。
- 各園の「発達支援コーディネーター」を対象とした研修会を実施し、園での就学相談体制を整えるとともに、小学校への情報提供を行い、適正な就学に努めた。
- 各園への巡回訪問を行い、園児の様子について情報収集し、その後の就学相談につなげた。

【成果及び今後の取組み等】

- 就学相談について保護者と学校との調整を図ることで、就学前児童の円滑な就学を進めることができた。
- 保育園・認定こども園と小学校との円滑な連携が進められた。
- 各園職員の特別支援教育への理解、適切な就学相談のあり方等研修を進めていく。

イ 通級指導教室の拡充

【令和元年度の取組み】

- 通級指導教室（言語障がい、発達障がい）を有効活用し、小学校の特別支援教育の支援を行った。
- 小千谷小学校に通級指導教室（言語障がい）の児童数が増えたため、

県に繰り返し増設を働きかけた。

【成果及び今後の取組み等】

- 従来の就学相談・教育支援委員会の時期や進め方及び手続きを見直し、個々の児童生徒に応じた効果的な相談体制となっている。
- 小千谷小学校の通級指導教室（言語障がい）増設にともない、担当教諭の指導力の向上を図る。

ウ 総合支援学校の運営支援

【令和元年度の取組み】

- 地域コーディネータを配置し、各学校と総合支援学校とのホットラインを活用した、相談支援体制の充実を図った。
- 総合支援学校主催の研修講座を定期的に行い、市の特別支援教育の充実を図った。

【成果及び今後の取組み等】

- 総合支援学校とその他の学校、保育園・認定子ども園との連携がより充実した。
- 総合支援学校研修講座への市内教職員の積極的な参加を促す。

エ 特別支援教育の充実

【令和元年度の取組み】

- 小・中学校に特別支援アシスタント 27名、小学校に学校支援員 17名を配置し、個のニーズに応じたよりきめ細やかな支援に取り組んだ。
- 地域における特別支援教育の充実を図るため、総合支援学校に設置された地域支援・特別支援教育推進部の活用を進めた。
- 総合支援学校のセンター的機能を活かし、相談支援ネットワークの構築を図った。

※資料 P 157～158 「○小学校教育振興経費」 参照

※資料 P 159～161 「○中学校教育振興経費」 参照

※資料 P 162 「○特別支援学校教育振興経費」 参照

【成果及び今後の取組み等】

- 総合支援学校の地域支援・特別支援教育推進部が、各園や学校と積極的に連携し、児童生徒の個別の相談や支援を進めた。
- 通常学級に在籍する発達障がいと思われる児童生徒に対する、適切な指導・支援を学ぶ研修を充実させる。

オ 生徒への就労支援

【令和元年度の取組み】

- ハローワーク主催の企業説明会への参加や市内企業、障がい者就労施設での現場実習に取り組んだ。

【成果及び今後の取組み等】

- 生徒の願いに沿った現場実習を継続的に行うことで、生徒の適性に合った適切な就労につなげることができた。
- 高等部の卒業生の増加にともない、就労継続支援B型の拡充を働きかけていく。

(4) 教育環境の整備

ア 学校施設の整備・充実

【令和元年度の取組み】

- 小学校の校舎整備工事を実施した。
- 普通教室空調未設置校の空調整備工事を実施した。

<主な工事>

- ・吉谷小学校校舎赤水対策工事
- ・吉谷小学校構内舗装修繕工事
- ・和泉小学校屋内消火栓系統漏水修繕工事
- ・南小学校特別支援教室整備工事
- ・東小千谷小学校普通教室エアコン設置工事
- ・吉谷小学校普通教室エアコン設置工事
- ・和泉小学校普通教室エアコン設置工事
- ・東山小学校普通教室エアコン設置工事
- ・南小学校普通教室エアコン設置工事
- ・片貝小学校普通教室エアコン設置工事

- 中学校の校舎整備工事を実施した。
- 普通教室空調未設置校の空調整備工事を実施した。

<主な工事>

- ・小千谷中学校屋内運動場屋根漏水対策工事
- ・小千谷中学校職員トイレ洋式化工事
- ・小千谷中学校普通教室エアコン設置工事
- ・千田中学校普通教室エアコン設置工事
- ・南中学校普通教室エアコン設置工事
- ・片貝中学校普通教室エアコン設置工事

- 総合支援学校の校舎整備工事を実施した。

<主な工事>

- ・校舎2階作業室改修工事

- ※資料 P 158 「○小学校施設整備事業」参照
- ※資料 P 161 「○中学校施設整備事業」参照
- ※資料 P 161 「○特別支援学校管理経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 空調整備工事の実施により、全ての普通教室に空調が完備され、子どもたちの学習環境の向上が図られた。
- 各種修繕、改修工事により校内環境の改善、向上が図られた。
- 学校施設の老朽化や教育環境の変化に対応した施設整備を計画的に実施する。
 - 〈今後の主な工事〉
 - ・東小千谷小学校児童玄関外装改修工事
 - ・総合支援学校屋内運動場屋根改修工事
 - ・総合支援学校作業室棟増築工事

イ 学校給食施設の整備・充実

【令和元年度の取組み】

- 吉谷小学校の給食室食器消毒保管庫入替工事を実施した。

- ※資料 P 174～175 「○学校給食経費 ○学校給食センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 今後も計画的に老朽化した施設設備の改善を図り、安心・安全な学校給食を推進していく。

ウ 情報化の推進

【令和元年度の取組み】

- 電子黒板やデジタル教科書の活用とともに、プログラミング教育に関する教職員研修会を実施した。
- ICTを活用した授業支援及びICT機器の操作支援等のため引き続き情報教育業務委託を実施した。
- コンピュータ機器の整備及びデジタル教材の充実を図った。
- 国の「GIGAスクール構想」に沿いICT環境整備を進めた。

- ※資料 P 154～156 「○教育センター経費」参照
- ※資料 P 157～158 「○小学校教育振興経費」参照
- ※資料 P 159～161 「○中学校教育振興経費」参照
- ※資料 P 162 「○特別支援学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 多くの学校で、電子黒板やデジタル教科書の活用に関する研修、プログラミング教育に関する研修を実施し、教職員のコンピュータ活用能力と情報活用能力の育成が図られた。
- 児童・生徒の更なる情報活用能力の育成とともに、情報モラル教育を推進する。
- コンピュータ機器・デジタル教材の更なる充実を図るとともに、これらを活用した授業支援、プログラミング教育に対する新たな授業支援を推進する。
- 国の「GIGAスクール構想」に沿い、学校のネットワーク環境整備や、児童・生徒への1人1台端末の整備を進め、個別最適化された学習環境を推進する。

(5) 育英事業の推進

ア 育英事業の支援

【令和元年度の取組み】

- (公財)小千谷奨学会において、経済的な理由により就学困難な者に対し奨学金の貸与を行った。
 - ・貸与者数 新規 21人 継続 58人 計 79人
 - ・令和元年度貸付総額 23,580千円
- (公財)小千谷奨学会において、小千谷学生寮を運営し、共同生活を通じた健全な学生生活の向上と、経済的負担の軽減を図った。
 - ・学生寮入寮者数(4月1日現在)
 - 新規 4人 継続 20人 計 24人

※資料P150 「○学校教育総務経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 小千谷学生寮に対する効果的なPRを行った結果、入寮が満室に近い状態となった。
- 育英事業の充実を図るため、(公財)小千谷奨学会の学生寮運営経費等に対して助成を継続する。
- 小千谷学生寮について、女子入寮が決定したことに伴い、受入れのための施設や管理面での準備を行う。
- ホームページやポスター・パンフレットなどの有効な手段を用いて、小千谷学生寮の入寮生募集に努めていく。

2 生涯学習の推進

(1) 生涯学習事業の推進

ア 学習機会の充実

【令和元年度の取組み】

- 第2次生涯学習推進計画に基づき、市民に学習機会を提供した。
- 第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会開催に伴い、小千谷縮や牛の角突き、錦鯉に関連した小千谷市独自事業を実施した。
- 高齢者教育をはじめ、青少年・家庭教育についても多様な学習機会の提供に努めた。
- 地域に伝わる伝統文化を次世代に継承する事業を実施する団体を支援し、伝統芸能の交流公演や伝統文化の学習会を開催した。
- 国の「第4次障害者基本計画」に基づき、障がい者の生涯学習を推進するため、関係者と意見交換をし、学習内容を検討した。

※資料P162～163 「○社会教育総務経費」参照

※資料P166～169 「○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 国民文化祭では、市内の高等学校と連携した事業を実施し、若年層が文化に触れる機会を提供することができた。また、地域に伝わる伝統芸能団体の発表の機会を設けることで、伝統の継承や次世代育成への意欲につなげることができた。
- 生涯学習推進計画の浸透を図るとともに、関係機関・団体等と連携し、コーディネーター機能を発揮しながら計画を推進していく。
- 成果や効果を実感できるプログラム作りに努め、継続的・循環的な学習を提供する必要がある。
- 「個人の要望」と「社会の要請」のバランスのとれた学級・講座の開催や参加しやすい環境づくりに努めることにより、生涯学習への関心を高め、参加者の増加を図っていく。
- 公民館分館においては、地域課題などの解決のため、身近な地域で学べる学習機会の仕組みづくりを進める。
- 伝統文化を次世代に継承する団体を支援することで、小千谷市をPRするとともに、学習会や発表会の内容の充実等を図る必要がある。
- 障がい者の生涯学習推進のため、関係者と事業実施に向け、協議を継続する。

イ グループ活動の支援

【令和元年度の取組み】

- 社会教育団体登録制度により、75団体に対し社会教育施設の利用支援を行った。

- 公民館等で実施している講座から、新たに自主サークルとして学習活動へ移行するための助言・指導を行った。
- 市内で活動する子育てサークル（3グループ）の親子ふれあい活動やレクリエーションなど自主的な活動を支援した。

【成果及び今後の取組み等】

- 公民館等で実施している講座から、2つの自主グループが結成された。
- 市民会館の利用者は、社会教育登録団体の利用が多く、減免措置を講ずるなど、今後も自主的に活動しているグループの支援を継続する。

ウ 指導体制の充実

【令和元年度の取組み】

- 青少年育成指導委員の指導技術向上と指導者意識を高めるため、資質の向上に向けた研修会を実施した。

【成果及び今後の取組み等】

- 引き続き、青少年育成指導委員が学んだ知識や技術など学習成果を生かせるよう指導技術の向上を目指す研修会を実施する。
- 指導者を地域で活用するため県の人材名簿「ラ・ラ・ネット」や独自の人材名簿の整備をさらに進める。

エ 公民館活動の充実

【令和元年度の取組み】

- 高齢者学級、美術教室、外国人のための日本語教室、家庭教育地域交流振興事業やシニア世代を対象にしたステップアップシニア講座を実施した。
- 公民館分館活動の現状を把握するため、地区ごとに分館訪問を実施した。
- 公民館分館活動においては、文化・スポーツ事業を中心に延べ38,861人が参加した。

※資料P166～169 「○公民館経費 ○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 今後は、40～50代の世代が主体的に考えることのできる人材の育成を図る。
- 今後も市民のニーズを把握し、他の社会教育施設や関係団体との連

携・協力により多様な講座の開催や参加しやすい環境づくりに努め、公民館利用者の増加につなげたい。

- 質の高い学習や交流の深まる学習プログラムを展開し、学習者の生活課題の解決に向けた学習機会の提供に努めるとともに、人材育成を行う。
- 公民館分館の活動情報の発信や役員の研修など、活動の活性化を図る取組みが必要である。
- 中山間地域の公民館分館において、高齢化や人口減少により活動の停滞が見られることから、分館活動のあり方について検討する必要がある。

オ 図書館サービスの充実

【令和元年度の取組み】

- 読書活動推進のため「絵本作家講演会」や「夜のおはなし会」「こどもとしょかん春のつどい」など、子どもと読書をつなげる事業を実施した。
- ボランティアグループと協力して書架整理や読み聞かせの活動を実施した。
- 利用者のぬいぐるみを預かり図書館を探検し、それにあわせて図書をお薦めするという、「ぬいぐるみお泊まり会」を実施した。
- 市民の読書への関心を高めるために、大人向け、子ども向け本の特集コーナー（1回/月）やミニコーナー（2回/月）を設置した。
- 高校生と連携して秋の読書週間にPOP展やおはなし会を実施した。
- 図書館情報を発信するために、ツイッターを開設した。

※資料P169～173 「○図書館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 図書館施設ボランティアや事業ボランティアを育成していく必要がある。
- 本の特集コーナーやミニコーナーの展示方法を工夫し、展示を新しいものに定期的に替えることで特集本の貸出数が増加した。
- 「子ども読書活動推進計画」に基づいた取組みを進める。
- 図書館の利用の拡大のために、市民ニーズに合った蔵書の充実を図るほか、インターネット予約、リクエスト制度、レファレンス業務など利便性と読書・調査支援などについて情報発信に努める。
- 高校生との連携事業により、これまで利用の少ない世代に図書館へ興味を持ってもらうきっかけを作る機会となった。
- 本による読書体験とあわせて、体験と知識が結びつくような資料提供

に努める必要がある。

- 計画されている図書館を含む複合施設が、「賑わい・交流・憩の創出」を基本方針に、地域の課題解決を支援するための情報拠点、また、市民が自主的に学びあえる施設となるよう、関係課等と連携し準備を進める。

カ 生涯学習施設の整備

【令和元年度の取組み】

- 新図書館及び（仮称）郷土資料館の開設に向けP F Iによる事業の実施を進めたが、事業計画に至らなかった。

【成果及び今後の取組み等】

- 市民会館、図書館、市民学習センターなどの社会教育施設は老朽化が進んでいることから、施設の利便性と安全性を考慮した計画的な改修、更新を行う。
- 生涯学習・地域の情報発信の拠点として、図書館や（仮称）郷土資料館等の多様な機能を持つ複合施設の整備を進める。

(2) 青少年の健全育成

ア 相談業務の充実

【令和元年度の取組み】

- 青少年相談員を2名配置し、面談、電話相談、電子メールによる相談を実施した。青少年の悩みに応え、人生の目標を見出すよう導くための対応を行った。（相談件数 延べ55件）
- 青少年相談員の研修会として、弁護士水内基成氏による青少年の理解の研修を行った。

※資料P165 「○育成センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 相談者は、主として電話による中学生、高校生からの相談が多い。数年にわたる継続的な相談もある他、無言電話も増加している。
- 青少年自身の悩みへの対応のほか、保護者による子どもの進路相談等が増えてきている。
- 相談内容により他機関の専門相談員と連携している。

イ 育成指導体制の充実

【令和元年度の取組み】

- 青少年育成センター運営協議会、青少年補導委員会、青少年問題協

議会による会議・研修会を開催した。

- 街頭補導を年間46回実施し、従事者は延べ132人、声かけをした少年は486人であった。
- 青少年の健全育成に関する活動を推進するため、青少年育成指導委員が、親子手作り教室やキャンプを実施した。

※資料P165 「○青少年対策経費 ○育成センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 青少年補導委員による街頭補導活動（愛の一声運動）、関係機関との合同パトロールを実施し、青少年の実態を把握できた。その結果、問題行動はほとんどなかった。
- 青少年育成センターを中心に学校・地域・PTAなどと連携を図り、広報活動による啓発活動を通して、地域に根ざした青少年健全育成活動を推進する。
- 様々な問題を抱える義務教育を終えた青年期の人の把握や、相談・支援のため、関係機関との連携が必要となっている。
- 青少年育成指導委員について、研修機会を増やし、指導者育成に努めるとともに、今後の青少年の育成指導を充実させる。

ウ 家庭教育の支援

【令和元年度の取組み】

- 乳幼児期・少年期における家庭教育の啓発を図るため、家庭教育地域交流振興事業として小中学校や幼稚園が行う講演会等に講師を派遣する等の支援を行った。（実施回数22回、延べ参加人数1,873人）

※資料P166～169 「○公民館事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 学校、PTAなどと連携して、家庭教育の啓発が進められた。
- 子どもを取り巻く状況や社会の課題を的確にとらえた講座・教室を、学校・PTAなどと連携し、今後も継続して実施する必要がある。
- 子育て支援の関係課や関係団体と情報を共有し、連携や役割分担して、講座の開催等の事業に取り組む。
- 家庭におけるメディアコントロールや基本的な生活習慣を身に付けるための啓発活動を強化する。

エ 地域活動などへの参加推進

【令和元年度の取組み】

○PTAや地域の団体が実施する青少年を対象とした教室に青少年育成指導委員やスポーツ推進委員を派遣し、活動の支援を行った。

青少年育成指導委員の派遣 5回、延べ参加人数 211人

スポーツ推進委員の派遣 56回、延べ参加人数 2,351人

○自然観察会や体験活動を行う社会教育活動の支援を行い、青少年の参加を促した。

※資料P165 「○青少年対策経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

○ボランティア活動の情報提供や人材・ニーズなどを関係機関と連携調整し、活動の支援を行う必要がある。

○青少年の地域参加を促すため、関係機関との連携を強化し、事業を実施する。

オ 地域ボランティアの活動支援

【令和元年度の取組み】

○放課後子ども教室における学校ボランティアの資質向上と情報交換のため、代表者会議とボランティア研修会を開催した。

○高齢者学級のサークルや社会教育活動団体が、小学校でボランティア活動が行えるよう調整した。

【成果及び今後の取組み等】

○地域ボランティアの活動の励みとなるよう、いきいき県民カレッジ「成果活用手帳」を希望者に配布した。

○地域ボランティアの資質向上のため、新潟県等が実施する各種研修会に積極的に参加するとともに、地域ボランティアの拡充や交流の取組みを進めていく。

カ 子ども・若者育成への支援

【令和元年度の取組み】

○利用者協議会によるおぢやまつりへの参加やホットプラザ祭を開催した。

○若者世代とのつながりの強化や交流促進の事業として、新たな屋外交流イベントを開催し、おぢやまつりなど利用者協議会主催の事業への参加を促した。

【成果及び今後の取組み等】

○おぢやまつりへの参加やホットプラザ祭の開催など若者世代の交流

- の場を提供し、若者世代のつながりを強化することができた。
- これまで事業に参加したことのない高校生や留学生を事業に呼び込んだ。

キ 勤労青少年の活動支援

【令和元年度の取組み】

- 教養講座として、延べ90講座・教室を開催した。また、勤労青少年の参加を促すため「ハーバリウム体験教室」など新しい講座・教室を開催し、新たな参加者獲得に努めた。
- 20代・30代の利用者を対象とした講座に対するアンケート調査を実施した。
- 講座の参加者がより主体的継続的に活動を行うよう、自主グループ化に向けて指導・助言した。
- 教養講座の講師に地域おこし協力隊として着任し、その後、定住された方に依頼するなど、幅広い分野の講師を登用した。

※資料P106～107 「○勤労青少年ホーム運営事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- アンケート調査で要望が多かった講座・教室を開催し、延べ参加者数が前年比で約5%増加した。
- 若者の持っているニーズや課題に対応した学習機会の提供を充実する必要がある。
- 講座・教室への新規の参加者を増加させるため、効果的な広報活動を実施し、参加者の活動を促進する。

3 文化の振興

(1) 文化・芸術の振興

ア 文化団体などの育成支援

【令和元年度の取組み】

- 国際交流・文化・スポーツ振興基金を活用し、多彩な活動を展開する文化団体への支援を行った。
基金活用団体 5団体
- 市内で活動する個人や団体に対し、活動の成果を発表する機会として、市民音楽祭・市民文芸のつどい・文芸おぢや発刊・小千谷市美術展覧会等、各種発表会を開催した。
- 市民学習センター「楽集館」において、団体等が作品展示する機会を提供した。
- 小千谷市美術展覧会では、市内高等学校と連携して、ポスターの作製

や書道パフォーマンスの発表を行った。

※資料 P 166～169 「○公民館事業」 参照

【成果及び今後の取組み等】

- 小千谷市から発信する、若者が企画する文化イベントの充実を支援する。
- 市内高等学校と連携して、日頃の成果の発表の場を提供する。

イ 芸術鑑賞の機会の充実

【令和元年度の取組み】

- 小千谷市出身のオペラ歌手やプロの演奏家と、市民合唱団によるオペラ公演のため、市民合唱団の募集を開始した。
- 新潟にゆかりのある「T O K I 弦楽四重奏団」によるイタリア音楽の演奏会を開催した。
- 東京オリンピックの開催に合わせ、「東京オリンピックと小千谷～1964あの頃～」の展示等、小千谷にゆかりの企画展を実施した。
- 第34回国民文化祭・いがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会開催に伴い、小千谷市独自事業として、12日間連続で伝統芸能の上演を行い、多くの市民が伝統芸能に触れる機会を創り出した。

【成果及び今後の取組み等】

- 演奏会等を開催することで、市民の文化・芸術への関心を高めることができた。
- 市民オペラ公演に向け、市民合唱団の練習を開始し、本番の公演準備を開始する。また、市民オペラ公演の予行練習として、市民合唱団が参加するコンサートを開催することで、多くの市民が芸術に親しむ機会を提供する。
- 芸術文化に関する生涯学習機会の充実を図るため、他の自治体施設との相互協力を図っていく必要がある。

(2) 文化財等の保存と活用

ア 文化財の調査、保存

【令和元年度の取組み】

- 各種開発に伴う埋蔵文化財の試掘調査を上片貝地区ほか6ヶ所で実施した。
- 国指定文化財「牛の角突きの習俗」に関連した「ふるさと東山を感じる～牛の角突き・錦鯉～」などの企画展示を、文化財を活用して

開催した。

- 越後上布・小千谷縮布技術保存協会が行うユネスコ無形文化遺産登録記念事業を支援した。
- 国指定文化財「愛染明王坐像」の美装化を図るため、支援した。

【成果及び今後の取組み等】

- 埋蔵文化財の試掘調査により、上片貝・芋坂地区から縄文時代の遺跡を発見し登録した。
- 次年度以降も県営圃場整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査を予定しており、関係機関等と連携・協力し進める。
- 企画展は小千谷にゆかりのある内容で実施し、市民のみならず市外の方からも好評を得た。
- 引き続き文化財を活用し、市民から文化財の理解を深めてもらう必要がある。
- 小千谷市伝統芸能保存連絡会議を開催し、郷土芸能団体を支援する。

イ 文化施設(郷土資料館等)の整備

【令和元年度の取組み】

- 文化施設建設基金の預金利子を積立てた。現在高は約7億1,476千円となった。
- 新図書館及び(仮称)郷土資料館の開設に向け、PFIによる事業の実施を進めたが、事業計画には至らなかった。

【成果及び今後の取組み等】

- 生涯学習・地域の情報発信の拠点として、図書館や(仮称)郷土資料館等の多様な機能を持つ複合施設の整備を進める。
- 現在収集・保管する資料を、今後保存・活用していくための整理作業を進める。

ウ 後継者の育成

【令和元年度の取組み】

- 小千谷縮布技術伝承者養成事業補助金などにより、小千谷縮技術保存会が実施する後継者養成事業を支援した。

※資料P163 「○文化財保存事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 伝統文化の保存と継承のため、小千谷縮技術保存会等と連携し、継続した取組みが必要である。

エ 郷土の偉人の顕彰

【令和元年度の取組み】

- 西脇順三郎にかかる記念講演会等の事業を関係団体と連携して実施した。

※資料 P 169～173 「○図書館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 郷土の偉人に関する資料の収集と整理に努め、資料を市ホームページで閲覧できるよう、その活用を進めていく。

4 スポーツの振興

(1) 地域スポーツの振興

ア 生涯スポーツの推進

【令和元年度の取組み】

- 高齢者向けの運動教室を東小千谷地区、西小千谷地区及び岩沢、真人地区で定期的を実施した。
- 幼児向けの親子運動教室の他、年長から小学低学年向けの親子で運動を楽しみ、4種目の球技を体験するボールゲームフェスタを開催した。
- 障がい者スポーツの普及や理解促進の事業として、7月にボッチャ大会、9月に卓球競技アスリートを招聘し、トークショーを開催した。また、同日、パラアスリートによる市内小学校2校での出前授業を実施した。
- 生涯スポーツ活動の推進を図るため市内各団体からの依頼に対して、スポーツ推進委員を講師として派遣した。(令和元年度 56回)

※資料 P 176～178 「○社会体育振興事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 高齢者を対象にした運動教室への参加者は多く、運動の習慣化が図られた。
- ボールゲームフェスタは、子どもたちにとって、トップアスリートによる指導と楽しみながら多様な動き、種目を経験できる良い機会となった。
- 親子運動教室は、健康未来こども課と調整、連携を図りながら事業の実施に取り組んでいく。
- 障がいの有無に関わらず、ともにスポーツに親しむ機会を創出することにより、障がいに対する理解を広め、障がい者のスポーツ普及

を図る。

イ 競技スポーツの推進

【令和元年度の取組み】

- 競技力向上のため、駅伝競走大会や各種スポーツ大会を市スポーツ協会、種目別競技団体等と連携して開催した。
- ジュニア層の競技水準の向上を図るため、学校、市スポーツ協会、種目別競技団体等と連携してジュニア選手の育成・強化に努めた。また、全国や世界で活躍するトップレベルの選手の活動支援を行った。

※資料 P 176～178 「○社会体育振興事業」

P 179 「○スポーツ振興基金事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 陸上競技、スキー、水泳、ソフトテニス、野球、バスケットボール、バレーボール、サッカー、BMX等の競技で全日本選手権大会、国民体育大会、全国高等学校総合体育大会等の全国大会及び国際大会に出場した。(58件)
- 全国、世界に通用する選手・チームを数多く輩出できるよう、今後市スポーツ協会及び種目別競技団体等と連携を図っていく。
- 国際交流・文化・スポーツ振興基金を活用し、今後も全国大会以上の大会へ出場する選手・団体に対し、報奨金を支給するとともに、世界の舞台で活躍する選手のサポート事業を実施する。オリンピック、パラリンピック大会などに出場することを目指している選手の支援に取り組む。

ウ スポーツ活動の普及推進

【令和元年度の取組み】

- 「小千谷市いきいきガイド」にスポーツ大会、行事・スポーツ教室のページを設け、全戸配布するとともに、市ホームページに掲載して市民に情報提供を行った。

【成果及び今後の取組み等】

- 市ホームページに掲載し、市民の利便性の向上を図ることができた。スポーツ大会等の結果についても掲載した。
- 広報誌などの紙面とSNSを活用し、幅広い世代への情報発信を図る。

エ 指導者養成の推進

【令和元年度の取組み】

- 長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会の指導者育成事業を活用し、指導者の養成と資質向上を目的とした講習会を開催した。
 - ・ジュニアリーダー研修会（参加者65人）
 - ・種目別競技（ソフトテニス、陸上競技）指導者研修会（参加者215人）
 - ・専門指導者派遣活用事業（81回 延べ参加者数1,728人）
- スポーツ推進委員の資質向上のため、スポーツ推進委員協議会での情報交換、他市で開催された合同研修会に参加した。また、協議会独自の研修会を企画し実施した。

※資料P176～178 「○社会体育振興事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会や新潟県の事業等を活用し、質の高い指導者養成を行う。
- 指導者のニーズに合わせ、専門種目の実技講習会を開催する。
- 選手の自主性を育てる指導やコミュニケーションスキル向上を目的としたジュニアスポーツ指導者のための講習会を開催する。

オ 健康・体力づくりの推進

【令和元年度の取組み】

- 拠点施設である総合体育館トレーニングルームのマシン整備を行い、利用者の利便性の向上を図るとともに、利用者にトレーニングメニューの提供を行った。
新規登録者数 384人 利用者数 44,894人

(参考)

令和元年度より事業主体が生涯学習課から保健福祉課（現：健康未来こども課）へ移行。

- 健康づくりの観点から、成人の運動習慣化を図るため、民間企業等とも連携し健康ポイント事業（ポイント制の運動教室）を行った。また、運動のきっかけづくりとなる事業や体力測定会を定期的に行い、運動に関する相談窓口を設けた。
健康ポイント事業 参加者数 875人

- 健康ポイント事業では、フレイル予防のための運動器科学講座との

連携により、運動メニュー実技指導や栄養面でのサポート等、新たな内容を取り入れ、市民の運動の習慣化を図っていく。

【成果及び今後の取組み等】

- 総合体育館トレーニングルームの活用により、市民の体力づくりが図れるよう、利用者のニーズを把握し機器の整備を図っていく。
- 運動の習慣化を図るための運動する場の提供や運動メニューの考案など行えるよう、医師、保健師、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、各種スポーツ教室の充実を図る。

(2) 体育施設の整備

ア 体育施設の整備・充実

【令和元年度の取組み】

- 多様化する市民のニーズに効果的、効率的に対応するため、既存施設の整備充実に努めた。
 - 白山運動公園野球場芝生修繕工事
 - グリーンヒル白山女子トイレ洋式化工事
 - 総合体育館メインアリーナ天井照明LED化改修工事
 - 総合体育館受電設備更新工事

※資料P179 「○都市公園体育施設等管理経費」参照

※資料P180 「○総合体育館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 年次的に既存施設の整備充実に取り組む。

イ 白山運動公園の再整備計画

【令和元年度の取組み】

- 白山運動公園内の全体レイアウトの検討を行った。

【成果及び今後の取組み等】

- 施設類型別個別管理計画を策定する。

ウ 屋根付き屋外運動施設の整備検討

【令和元年度の取組み】

- 雪国に適応した屋根付き屋外運動施設の建設について、情報収集を行った。

【成果及び今後の取組み等】

- 現在の小千谷市全体の屋外スポーツの施設利用状況等の分析、調査を行うとともに、引き続き情報収集を進める。

5 人口減少対策

ア 少子化対策の推進

【令和元年度の取組み】

- 独身者に対する出会いの場を創出するため、「ときめきめぐりあい推進事業」を引き続き実施した。
- 令和元年度の会員数は、新規に40名が入会し、全体で183人となった。めぐりあい（お見合い）は36回、イベントは3回実施し、5組（イベントからの成婚カップル2組を含む。）の成婚があった。
- 婚活イベントを3回実施して出会いの場を創出した。

※資料P164 「○ときめきめぐりあい推進事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 女性会員数の獲得のため、平成30年度に引き続き女子会型イベントを開催し、本事業のPRと会員獲得を行った。（2回予定のうち1回中止）
- 本事業開始（平成21年度）から本年度までに、市外からの転入者は30名となり、誕生した子どもは少なくとも30名を超えた。
- めぐりあいサポートセンターでは、会員外の方へも助言を行い、成婚するケースが増加している。
- さらに女性会員数を拡大させ、成婚に結びつけるため近隣市と連携し、事業を推進する必要がある。

Ⅲ 点検及び評価に対する意見等

令和元年度の取組み状況等の点検・評価に対する意見等は、以下のとおりです。

1 学校教育の充実

・新型コロナウイルスによって、オンライン授業や、リモートなど予測不可能な授業体系になってきたと思う。今後もどういう形に進んでいくのかわからない状況の中で、教育の現場は柔軟に対応していかなければならない。小千谷だからとか都会だからという事は全く関係なくなってくると思う。今の小・中・高校生が今後、受験、進学となった時に差を感じないような教育現場になればいいと感じている。これに並行して、

都会でなくても働く場は地方にもある、どこに居ても働く場が作れるということを、子供たちにもっともっと深めていただきたい。

- ・小・中学校全ての普通教室にエアコンが設置され、環境の整備が進んだことは、非常に良かったと思う。

- ・今回の新型コロナウイルスでの弊害の1つとして、この半年で個人としても、地域としても学力差がついてしまったのではないかと危惧している。今後はこういったことを防ぐ、あるいは地域の活力のためにも、オンライン授業が迅速に、また、十分にできるような体制を市として目指していくべきではないかと考えている。

- ・おちやっ子教育プランをベースに、各学校の校長先生方が、それぞれの学校の規模や特性に応じた計画を立て、プランの意図もしっかり把握した上で、方向性を提示し先生方個人個人の意思の疎通を図ろうと頑張っていると思う。また、先生方に対する教育指導について、校内でも力を入れていると感じた。

- ・小千谷・海外留学生支援協議会や長岡技科大の留学生との交流体験活動において、せっかく日本に滞在してもらっている外国籍の方ともっと連携していけたらいいと思う。

- ・常に1人学習を余儀なくされる状況は、当分続くであろうが、受け身学習から能動的学習で、様々な機器を使いこなしながら学習し、それが自分の力になっていってほしいと思う。

- ・総合支援学校の生徒は増加傾向にあるため、作業室を増築することについて、子供たちが将来どんな職業に就くのか、職業の選択肢を増やすために、非常に重要な部分なのではないかと感じた。

- ・障がいがあると言っても、将来の職業選択を増やすために、様々な事を経験してもらいたいと思う。様々な才能を持っている子どもたちがいるため、そういった小さな芽を見つけられるような授業が行っていったらいいと思う。

2 生涯学習の推進

- ・被爆に関する証言は、子どもたちも色々と聞く機会があるが、地元の人たちや、長岡の空襲で苦しんだ人たちの話、自分の愛するものを戦争によって失った人たちの気持ちなどが子どもたちにもっと伝わる機会があればいいと思う。

- ・中越大震災の起こった年に生まれた子どもたちは現在、高校1年生になっている。震災を経験していない今の小・中学生に、震災体験をした私たちがきちんと語り継いでいくことの大切さを実感し、風化させないように子どもたちに伝えていきたいと感じている。

3 文化の振興

- ・小千谷市内の中学校の部活は、文化部が少なく、文化系の能力を伸ばす機会が少ないと思った。小・中学生の連携の中で、文化の推進が高められる機会を増やすことや、高齢者との接点を増やすことで文化の振興を進めていけるといいと思う。
- ・オンラインやテレワークなどを通じてのコミュニケーションが、様々な価値を作り出していく時代になったので、そういった部分で、文化の振興への意識が高まっていくといいと思う。
- ・旧小千谷総合病院跡地の活用について、中学校に文化系の部活が少ないとか、高校に行ったが希望する部活がないという現状で、そういう地域の文化活動の中で、子供たちの居場所の一つになるような施設になるといいと思う。
- ・図書館は、今後、文化施設としての従来のライブラリーではなく、生活の情報をそこで得て、そこから利用者が情報を発信できるような、双方向の機能を持っているようなことが必要になってくると思う。

4 スポーツの振興

- ・中学校の市内大会がなくなってから、親御さんが自分の子どもの活躍する場面を見て応援する機会が減っている。そのため、地元の高校生同士の交流試合を市民みんなが見られる形で実行できたらより地元が盛り上がるのではないかと思う。
- ・スポーツの振興の中で、指導者の育成に力を入れていくことが、今後のスポーツ活動において重要になってくると思うので、是非、力を入れていただきたい。
- ・屋根付き屋外施設は、雪国には必要な施設だと思っている。昨年度に比べると取り組みが消極的になったと感じる。

5 人口減少対策

- ・市外から転入してくる場合、男性は奥さんの地元に来ることが多いと感じる。そのため、ときめきめぐりあいのような活動は、いかに女性を大切にするか、ということが非常に大切であると思う。

令和元年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

令和2年8月

編集・発行 小千谷市教育委員会

〒947-0028 小千谷市城内四丁目1番38号

(小千谷市健康・こどもプラザあすえ〜る)

電話 0258-83-3519

FAX 0258-83-5779